



出石・永楽館通信

「歌舞伎のお話」

建物を全面改修し、今年夏に完成する「永楽館」についての情報を発信します。

《問合せ》教育委員会出石分室

今回は、新築当時、よく興行されていた「歌舞伎」について紹介します。

「歌舞伎」の語源ともなった「傾く」という意味を国語辞典で調べると、「人目につくような変わった身なりや行動をする」とあります。

天下分け目の合戦「関ヶ原の戦い」から3年後の1603年、阿国という女性が京の都で男装し、水晶の数珠や十字架を首にかけたり、赤い腰簪をまとうてみたりと派手な衣装で、「かぶき踊り」というものを踊ったというのが最初とされています。

まさに傾いた様子で、今でいうところの gangslo meiku でパラパラを踊るようなものでしょうか。当時としては奇抜で最新のファッションは、都の人々の人気をたちまち集めたのでした。

その後、阿国のかぶき踊り

これが野郎歌舞伎で、現在の歌舞伎のもとになっていきます。現代の歌舞伎がすべて男性のみで演じられ、女の役を女方といわれる男が演じているのもこのためです。

さて、「歌舞伎」という文字は当て字です。音楽歌と舞踊舞と技芸・物まね(初め「技」のち「伎」)の3つの漢字を合わせた言葉です。

誰がそのように使うようになったのか分かりませんが、まさにこの芸能のことをピタリと表現した素晴らしい当て字だと思いませんか。

また「KABUKI」といえば、世界で通用する日本の伝統的な芸能といわれています。世界でも通じる「歌舞伎」の世界をあなたもぞいてみませんか。



かつての永楽館での芝居公演の様子

豊岡の子育て支援

シリーズ5

公民館で実施している幼児教育学級と

乳幼児親子学習サークル

市が行っている「子育て支援事業」をシリーズでお知らせします。

《問合せ》こども育成課

市内の各地区公民館では、

4歳児とその保護者を対象とした「幼児教育学級」と0～3歳児とその保護者を対象とした「乳幼児親子学習サークル」を実施しています。

各地区の方々と協力し、年間を通じて事業実施日や内容などを決定しています。

読み聞かせやリトミック、工作、クッキング、季節の行事、施設見学、幼稚園などの交流会、身近な環境学習などを計画し、各地区で親子が友達と一緒に遊びながら学ん

でいます。

今年度は、26の乳幼児親子学習サークルと17の幼児教育学級が開設されました。

この事業は、各地区で同年代の子どもたちが少なくなる中、子どもとその保護者たちが一緒に過ごす機会を楽しみ、育児に関する情報交換や不安・悩みなどの解消も目的としています。

実施の有無、実施日などは、各地区の都合により、異なりますので、詳細は、各地区公民館へ問い合わせください。



絵本の読み聞かせ(神美地区)



親子でクッキング(日高地区)

おめでとうございます

(敬称略)

平成19年度
公衆衛生事業功労者表彰

日本公衆衛生協会会長表彰

豊岡市竹野南愛育班(竹野町)

竹野南愛育班は、長年にわたり地域の健康づくり、住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献されました。

豊岡市消防本部消防長
感謝状

1月15日、日高町池上で発生した建物火災で、次の皆さんは火災を早期発見し、迅速な対応で被害を最小限に止められました。

小松正義・あや子(日高町池上)
林 徳佑(日高町池上)

田園自然再生活動コンクール

子どもと生きもの賞

新田プロジェクトE
新田小学校の児童や卒業生で作る環境サークル「新田プロジェクトE」は、コウノト

リ育む農法などの地域活動が評価され、農林水産省などが主催する「田園自然再生活動コンクール」で子どもと生きもの賞を受賞しました。

平成19年度
グリーンスクール表彰校

高橋小学校

国の特別天然記念物オオサンショウウオを核として、地域の自然と触れ合う実践的環境学習・教育を積極的に推進する活動を行っている学校として、県からグリーンスクール表彰を受けました。

兵庫県 社会を明るくする運動」作文コンテスト

神戸保護観察所長賞

一幡朱里(八代小6年)

全国中学校・高等学校
スキー大会に出場

全国中学校スキー大会石川県(女子アルペン)大回転他

田中藍奈(豊岡北中3年)
西村郁香(日高西中2年)

西村裕香(日高西中1年)
全国高等学校スキー大会新潟県(男子アルペン)大回転他
田中善之(豊岡総合高2年)
中川剛聡(京都府福知山成美高2年・但東町天谷)
皆さん健闘しました。なお、田中さん、中川さんは、2月下旬に長野県で開催される国民体育大会にも出場します。

出石高等学校野球部が
近畿高等学校野球連盟
から表彰

今春開催される第80回記念選抜高等学校野球大会の21世紀枠候補に、兵庫県代表として推薦された出石高等学校野球部が、近畿高等学校野球連盟から表彰されました。

同部は、昨年夏の全国高校野球選手権大会県予選でも応援優秀賞を受賞されています。残念ながら、センバツ出場には至りませんでした。



すくすく日記



本コーナーに出演いただくお子さんを募集します。対象は市内在住で2歳までの乳幼児。お子さんの写真の裏に氏名(ふりがな)、性別、生年月日、保護者の氏名、住所、電話番号とコメント(40字以内)を添えて、秘書広報課「すくすく日記係」へお送りください。



森山 悠人ちゃん
(平成18年11月13日生)

いつも元気いっぱい
の悠人君。いっぱい食べて、遊んで、すくすく育ってね!
(父 崇・母 景子、弥栄町)



長谷田 りらちゃん
(平成17年12月10日生)

牛乳大好きやんちゃっ娘
これからもたくさん飲んで、元気にすくすくと育てね
(父 大介・母 愛、野田)



福井 悠祐ちゃん
(平成18年11月30日生)

力持ちで元気いっぱい
の悠祐! かわいい笑顔をいつもありがと
(父 基之・母 宜子、京町)



森田 紗菜ちゃん
(平成17年12月6日生)

いつも元気モリモリで、みんなに愛される優しい女の子になつてチュウ♡
(父 啓寛・母 尚子、戸牧)



竹野 淳太ちゃん
(平成18年12月10日生)

1歳 しっかり歩けるようになったぞ
かわいい笑顔の淳太。これからも元気に育ちますように。大好きだよ♡
(父 優也・母 聖子、弥栄町)